

霧島の水場に現れた野鳥たち

霧島市高千穂河原には、落葉広葉樹やアカマツなどからなる森林が広がっており、多くの野鳥を見ることができます。森の中には、野鳥を驚かすことなく観察できる野鳥観察小屋が設けられていますが、この施設を9月末に訪ねてみました。この小屋の前には水場があることが特徴で、小屋の中から水場を訪れる野鳥をじっくり観察できます。小屋の中で身を潜めながら、水場を訪れる野鳥をしばらく待ってみました。

まず、最初に登場したのがヤマガラです。森に棲む代表的な野鳥で、年間をとおして見ることができます。水浴びが好きな鳥としても知られていますが、豪快に水浴びをしていました。



水浴びをするヤマガラ

次に登場したのが、エゾビタキです。日本では繁殖しておらず、主に秋に通過する旅鳥ですが、霧島では9月末に多数飛来します。エゾビタキは、すぐには水浴びをせず、ヤマガラが終わるのを待っているようでした。



エゾビタキ (左) ヤマガラ (右)

エゾビタキが去ってから、しばらく待っていると夏鳥のキビタキが現れました。キビタキの雄は鮮やかな黄色を持つことで有名ですが、雌は写真にある

ように暗緑色で地味な色です。雄の姿を探しましたが、この場所では見ることはできませんでした。



地味な色のキビタキの雌

観察を続けると、混群（多種類の野鳥の集団）が水場に現れました。市街地にも多く現れるシジュウカラ、シジュウカラよりも一回り小さいコガラ、木に垂直に止まることができるゴジュウカラなどのカラ類やエナガ、メジロが次々に水に入り、水場はとて賑やかになりました。



エナガ

ゴジュウカラ

そこに、水に入ったらすぐさま飛び立つ、いささか忙しい鳥が登場しました。よく見てみると、夏鳥であるサンコウチョウです。春先、雄は長い尾を持ちますが、南方に渡る今の時期には長い尾がありませんでした。



尾が短くなったサンコウチョウ雄

このように、多種類の野鳥を短時間（40分程度）に見ることができ、霧島の森の豊かさを実感することができました。